

ユーザーガイド





第2版 2023年2月

Copyright © 2022 ASUSTeK COMPUTER INC.無断複写、転載を禁じます。

購入者によるバックアップの場合を除き、ASUSTeK COMPUTER INC.(以下「ASUS社」)からの文書による明 示的な許諾を得ることなく、本マニュアルに記載された製品およびソフトウェアを含む本マニュアルのいかなる 部分も、いかなる形態または方法によっても無断で複製、送信、複写、情報検索システムへの保管、翻訳すること は禁止されています。

以下の場合は、製品保証やサービスを受けることができません。(1)製品に対し、ASUS社によって文書により 認定された以外の修理、改造、改変がおこなわれた場合。(2)製品のシリアル番号が傷ついたり失われたりして いる場合。

ASUS 社は本書を「現状のまま」提供するものであり、市販性、特定目的との適合性に関する黙示の保証または 条件を含む (ただし必ずしもこれらに限定されない)明示または暗示の保証を一切いたしません。ASUS 社、同 社の責任者、従業員、代理人は、本書の記述や本製品の不具合から損害が生じる可能性について報告を受けて いたとしても、いかなる間接的、直接的、偶発的、二次的な損害(利益の損失、取引上の損失、データの損失、業 務の中断などを含む)に対し責任を負わないものとします。

本書の製品仕様や情報は参照のみを目的として提供されるもので、随時、予告なく変更される場合があ り、ASUS 社による確約として解釈されるものではありません。本書に記載された製品およびソフトウェアを含 む、本書の内容に不具合や誤りがあったとしても、ASUS 社は一切責任を負いません。

本書に記述のある製品名および商号は、各社の所有する登録商標または著作権である場合があります。本書で はこれらを特定および説明のために使用しており、それらを侵害する意図はありません。

内容

通知		iv				
安全上の	安全上の注意v					
留意点。	とお手入	れについて vi				
回収サ-	ービス	vii				
EUエネ	ルギー	ラベルに関する製品情報vii				
第1章	i:	製品紹介				
1.1	ようこそ					
1.2	本パック	ケージの内容 1-1				
1.3	ディスフ	プレイ各部の説明1-2				
	1.3.1	前面図1-2				
	1.3.2	背面図1-4				
	1.3.3	QuickFit Plus 機能1-5				
	1.3.4	その他の機能1-7				
	1.3.5	色校正1-8				
第2章	i:	セットアップ				
2.1	ミニスタ	タンドの調整2-1				
2.2	スタント	・ (アーム/ベース) の取り付け				
2.3	スタント	^{<} (VESA ウォールマウント用) の取り外し				
2.4	ディスフ	プレイフードの取り付け2-6				
2.5	ケーブノ	レクリップの取り付け2-8				
2.6	ディスフ	プレイの調整2-9				
2.7	ケーブノ	νの接続2-11				
2.8	ディスフ	プレイの電源を入れる2-12				
第3章	i:	全般的な説明				
3.1	画面 (O	OSD) メニュー 3-1				
	3.1.1	設定方法3-1				
	3.1.2	OSD 機能の概要 3-2				
3.2	仕様概	要3-18				
3.3	外形寸	法3-20				
3.4	トラブル	レシューティング (FAQ)3-23				
3.5	サポー	トされている動作モード 3-24				

通知

FCC (米国連邦通信委員会) 規定の適合宣言

本装置は米国連邦通信委員会 (FCC) 規定第 15 部に準拠しています。本装置の操作 は以下の 2 つの条件を前提としています。

- 本装置は有害な電波障害を引き起こすとは限らないこと。
- 本装置は、誤動作を引き起こしうる電波障害を含め、いかなる電波障害も容認しなければならないこと。

本装置は、FCC 規定第 15 部によるクラス B デジタル装置の規制に準拠することが試 験により確認されています。これらの規制は、住居に設置した場合の有害な電波障害 に対する適正な保護を提供することを目的としたものです。本装置は無線周波エネル ギーを生成、使用し、放射しうるため、取り扱い説明書の記載どおりに設置、使用しない 場合には、無線通信に有害な電波障害を引き起こす可能性があります。ただし、特定の 設置方法において電波障害が発生しないという保証はありません。本装置の電源のオ ン / オフを切り替えることにより、本装置が無線またはテレビの受信に有害な電波障害 を引き起こしていることが確認された場合は、電波障害を修正するために次の対処方 法のうちいくつかをお試しください。

- 受信アンテナの向きや設置場所を変える。
- 本装置を受信機から離す。
- 受信機が接続されている回路とは別の回路にコンセントを接続する。
- ・ 販売店または無線機/テレビの専門技術者に問い合わせる。



FCC 規制への準拠を保証するために、ディスプレイをグラフィックスカードに接続 するためにシールドケーブルを使用する必要があります。準拠の責任者から明示的 に承認されていない変更または改変を本装置に行うと、本装置を操作するユーザ ーの権限が無効になることがあります。

カナダ通信省規制の適合宣言

本デジタル装置は、カナダ通信省の電波障害規制で規定されている、デジタル装置からの電波ノイズ放射に関するクラス B 制限を超えません。

本クラス B デジタル装置は、カナダの ICES-003 に準拠しています。

本クラス B デジタル装置は、カナダの妨害装置規則のすべての要件を満たしています。

Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Réglement sur le matériel brouiller du Canada.

EHC

安全上の注意

- ディスプレイのセットアップをおこなう前に、本製品に付属しているすべての説明 書をよくお読みください。
- ・ 火事や感電の危険を予防するため、ディスプレイを雨や湿気にさらさないでください。
- ディスプレイのキャビネットは決して開けないでください。ディスプレイ内部には 危険な高電圧が通っており、重症を負う恐れがあります。
- 電源供給部が破損した場合は、ご自分で修理を試みないでください。その場合、正 規のサービス技師または販売店にお問い合わせください。
- 本製品をご使用になる前に、すべてのケーブルが正しく接続されており電源コード が損傷していないことをご確認ください。何らかの損傷を発見した場合は、ただち にお買い上げ店までご連絡ください。
- キャビネット背面または上部にある細長い隙間および開口部は通気孔です。これらの穴をふさがないでください。適度な通気を確保していない状態で、本製品をラジエータや熱源のそばまたは上に置かないでください。
- ディスプレイの稼動には、ラベルに表示されたタイプの電源のみをご使用ください。ご家庭の電源タイプが不明な場合は、お買い上げ店または地域の電力会社までお問い合わせください。
- ・ お住まいの地域の電力標準に従って、適切な電源プラグをご使用ください。
- OA タップや延長コードに過度の電流負荷をかけないでください。過重電流は感 電を引き起こす恐れがあります。
- 埃、湿気、高温や低温を避けてください。ディスプレイを水がかかる恐れのある場所に置かないでください。また、ディスプレイは安定した平面に置いてください。
- ・ 雷雨時、または長期にわたって使用しない場合は、装置の電源コードを抜いておいてください。これは、電力サージによる損傷からディスプレイを守るためです。
- ディスプレイのキャビネット開口部に、異物を押し込んだり液体をこぼしたりしないでください。
- 万全の動作を保証するため、本ディスプレイは 100-240V AC と記され正しく構成 されたレセプタクルを持つ、UL リスト記載のコンピュータでのみご使用ください。
- ディスプレイに技術的な問題が発生した場合は、正規のサービス技師または販売 店にお問い合わせください。
- ・ ボリュームコントロールとイコライザーを中央位置以外の設定に調整すると、イヤ ー/ヘッドホンの出力電圧が上昇し、音圧レベルが上昇する場合があります。
- 重要:本製品付属のACアダプターおよび/または電源コード以外で本機に電力 を供給しないでください。
- 付属のACアダプターおよび/または電源コードを他の製品に使用しないでくだ さい。故障、事故の原因となります。



車輪付きのゴミ箱に×を付けたこの記号は、製品 (電気、電子機器、水銀含有ボタン電池)を一般廃棄物入れるべきではないことを示しています。電子製品の廃棄に 関する地域の規制を確認してください。

AEEE yönetmeliğine uygundur

留意点とお手入れについて

- ディスプレイを持ち上げたり移動したりする際は、あらかじめケーブルや電源コードを抜いておくことをお勧めします。ディスプレイを設置する際は、正しいやり方で持ち上げてください。ディスプレイを持ち上げたり持ち運んだりする際は、本体の縁をつかむようにしてください。スタンドやコードでディスプレイを持ち上げないでください。
- お手入れ方法。ディスプレイをオフにし、電源コードを抜きます。ディスプレイ表面 を、汚れのない柔らかい布で拭きます。頑固な汚れには中性クリーナーで湿らせ た柔らかい布をお使いください。
- アルコールやアセトン入りのクリーナーは使用しないでください。OLED 専用クリ ーナーをご使用ください。クリーナーを画面に直接吹き付けることは絶対にしない でください。クリーナー液がたれてディスプレイ内部に入り込むと、感電を引き起こ す恐れがあります。

以下の症状は、ディスプレイの正常な状態です。

- ご使用のデスクトップパターンによって、画面の輝度にむらがあるように感じることがあります。
- 同じ画像が何時間にも渡って表示され続けると、別の画像に変えた後でも前の画像の残像が残る場合があります。この場合、画面はゆっくり回復していきます。または電源をオフにして数時間すると直ります。
- ・ 画面が真っ黒になったりフラッシュしたり、あるいは動作しなくなった場合は、販売
 店またはサービスセンターに修理を依頼してください。画面をご自分で修理しな
 いでください。

本マニュアルのルール

警告:作業をおこなう上で、怪我の発生を防ぐための注意事項です。



∕**}**∖

S

注意:作業をおこなう上で、部品の損傷を防ぐための注意事項です。

重要:作業をおこなう際に従うべき注意事項です。



本書に記載された以外の情報を閲覧するには

追加情報や、製品およびソフトウェアのアップデートについては、以下の情報元を参照 してください。

1. ASUS社ホームページ

ASUS 社ホームページでは、世界中に向けて ASUS 社のハードウェアおよびソフトウェア製品の最新情報を提供しています。http://www.asus.com を参照してください。

2. オプション文書

お買い上げの製品パッケージには、販売業者によって追加されたオプション文書 が同梱されている場合があります。これらの文書は標準パッケージの一部ではあ りません。

回収サービス

ASUS リサイクルおよび回収プログラムは、環境を保護するための最高水準に対する コミットメントからもたらされています。ASUS はお客様が当社製品、バッテリおよび その他の部品、さらには梱包材料を責任を持ってリサイクルするためのソリューション を提供していると信じています。

異なる地域での詳細なリサイクル情報については、 http://csr.asus.com/english/Takeback.htm にアクセスしてください。

EU エネルギーラベルに関する製品情報





1.1 ようこそ!

ASUS[®] OLED ディスプレイをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ASUS 社の最新型ワイド画面 OLED ディスプレイは、より鮮明で幅広な高発色ディスプレイに加え、便利な機能を搭載しています。

これらの機能により、本ディスプレイがお届けする便利で快適なビジュアル体験がお楽しみいただけます。

1.2 本パッケージの内容

お手元のパッケージに、以下のものが入っていることを確認してください。

- ✓ OLED ディスプレイ
- ✓ スタンド
- ✓ ケーブルクリップ
- ✔ 校正レポート
- ✓ クイックスタートガイド
- ✔ 保証カード
- ✓ 電源コード
- ✓ HDMI ケーブル
- ✓ DisplayPort ケーブル
- ✓ USB Type-C ケーブル
- ✓ USB Type-C ~ Type-A ケーブル



上記アイテムが損傷したり紛失した場合は、ただちに販売店までご連絡ください。

1.3 ディスプレイ各部の説明

1.3.1 前面図



- 1. 🔚 メニュー (5-ウェイ) ボタン:
 - ・ OSD メニューに入ります。
 - ・ 選択した OSD メニュー項目を実行します。
 - ・ 値を増やす/減らすか、選択を上/下/左/右に動かします。
- 2. × クローズボタン:
 - ・ OSDメニューを終了します。
 - ・ 5秒間長押しすると、キーのロック機能のオンとオフが切り替わります。
- 3. 3 入力選択ボタン:
 - ・ 次の既存の入力ソースへのスマートスイッチ。
- 4. **III** QuickFit Plusボタン:
 - これは、配置用に設計された QuickFit Plus 機能を有効にするためのホットキーです。
 - QuickFit Plus 機能には、4 種類のアライメントパターンが含まれています。(1.3.3 QuickFit Plus 機能 を参照してください)。

- 5. 🛛 自己校正ボタン:
 - スタンドアロン校正を実行して、作業期間ごとに色の精度を確保します。
- 6. 🔤 ショートカット 1
 - ・ デフォルト:HDR ホットキー
 - ・ ホットキー機能を変更するには、[ショートカット] > [ショートカット 1] メニ ューに移動します。
- 7. 🞬 ショートカット 2
 - ・ デフォルト:ProArtPresetホットキー
 - ・ ホットキー機能を変更するには、[ショートカット] > [ショートカット 2] メニ ューに移動します。
- 8. **也** 電源ボタン/電源インジケータ:
 - ・ ディスプレイのオン/オフを切り替えます。
 - 電源インジケータの色は、下の表のように定義されています。

状態	説明
白色	オン
黄色	スタンバイモード
オフ	オフ

- 9. 近接センサー
 - ・ 機能が有効になっていて、設定した時間内に 30 cm ~ 1.5 m 以内に物体 の存在が検出されない場合、システムは定期的に明るさを自動的に下げ ます。



- 回復時間は2秒以内になります。
 対象物や環境により、検知でするがもやらい。
- 対象物や環境により、検知できる能力や距離は異なります。
 - センサーの前 (30 cm ~ 1.5 m) に物を置かないでください。センサーの機能が低下します (人が前方にいると誤動作する可能性があります)。
- 設定を構成するには、[システムセットアップ] > [近接センサー] メニューに 移動します。

1.3.2 背面図



- 1. イヤホン端子:このポートはイヤホンに接続します。
- 2. HDMI ポート: これらのポートは HDMI 互換デバイスを接続する際に使用します。
- 3. DisplayPort 入力::このポートは DisplayPort 互換デバイスを接続する際に使用します。



OSD メニューの DisplayPortストリーム のデフォルト設定は DisplayPort 1.4 で す。デバイスの出力信号が DisplayPort 1.1 の場合は、DisplayPort 1.1 に変更でき ます。

- 4. 電源スイッチ:電源のオン/オフを切り替えるにはこのボタンを押します。
- 5. AC 入力ポート:このポートは電源コードを接続する際に使用します。
- USB 3.2 Type-C: このポートは、DisplayPort /USB Type-C 互換デバイスとの接続用です。このポートは、USB 電源とデータ配信をサポートする USB アップストリームケーブルとの接続にも使用されます。



このディスプレイは、Super-Speed USB 3.2 Gen 2 互換 (10 Gbps) です。このポートは、5V/3A、9V/3A、12V/3A、15V/3A、20V/3.25A の電力供給を提供します。

 USB 3.2 Gen 2 Type-A (SuperSpeed USB 10Gbps): これらのポートは、USB キーボード/マウス、USB フラッシュドライブなどの USB デバイスを接続する際 に使用します。



- ・ 上部の USB ポートは BC1.2 をサポートします。
- ・ 下部の USB ポートは FW アップグレードをサポートします。
- 8. ケンジントンロックスロット:このポートは、セキュリティの目的でロックアンドケー ブル装置を接続します。

1.3.3 QuickFit Plus 機能

QuickFit Plus 機能には、次の 4 種類のパターンが含まれています。(1) 安全領域、(2) 中央マーカー、(3) Customization、(4) Ruler です。パターンをアクティブにするには QuickFit Plus ボタンを押します。 メニュー (5- ウェイ) ボタンを使用して、目的のパ ターンを選択します。必要に応じて、ボタンを上/下/左/右に動かしてパターンの位 置を変更できます。

必要に応じてフレームサイズを調整できるのは Customization パターンのみですが、 左 / 右 / 上 / 下に移動できる範囲が限られている場合があります。

1. 安全領域

デザイナーおよびユーザーはページ上のコンテンツおよびレイアウトを整理し、一貫した表示とスタイルを維持することができます。

以下の選択肢があります:



2. 中央マーカー

中央マーカーの種類を選択します。 以下の選択肢があります:





タイプ 2



タイプ 3

3. Customization

■メニュー (5-ウェイ) ボタンを上/下/左/右に動かしてフレームの大きさを決定 できます。■メニュー (5-ウェイ) ボタンを3秒以上押すと、メートル法とインペリア ル法の間で測定値を切り替えることができます。

Customization		
	H16 V15	

4. Ruler

このパターンは、上部と左側に物理的なルーラーを示します。 ビメニュー (5-ウェイ) ボタンを3秒以上押すと、メートル法とインペリアル法の間で測定値を切り替えること ができます。



1.3.4 その他の機能

1. HDR

ディスプレイは HDR 形式をサポートしています。HDR コンテンツを検出すると、「HDR ON」メッセージがポップアップ表示され、情報ページが表示されます。



PIP/PBP モードがオンの場合、HDR コンテンツはサポートされません。

1.3.5 色校正

ユーザーは、ディスプレイの上部に埋め込まれているカラーセンサーで ProArt ツール を使用して色校正を行うことができます。校正にカラーセンサーを使用する前に、カラ ーセンサーの保護フィルムが取り外されていることを確認してください。

1. ProArt ツールを開いてカラーセンサーをアクティブにし、色校正を実行します。 カラーセンサーが元の位置から画面に向かって動き始めます。



 カラーセンサーが画面の端に達すると、カラーセンサーは停止し、校正プロセス を開始します。校正時間は、選択したプリセットモードの量によって異なります が、最長時間は 30 分になる場合があります。



3. 校正プロセスが完了すると、カラーセンサーは自動的に元の位置に戻ります。



- デバイスの電源を入れると、初期化プロセス中にモーターが動作している間、 カラーセンサーが元の位置に戻り、音が鳴ります。これは正常です。
- フードを取り付けると、カラーセンサーも使用できます。
- ・ 損傷を防ぐために、カラーセンサーを引っ張らないでください。
- ProArt ツールが校正をスムーズに実行できるように、カラーセンサーに手で 触れないでください。また、プロセス中に干渉物がないようにしてください。

2.1 ミニスタンドの調整

ミニスタンドを調整するには:

- ディスプレイを箱から慎重に取り出します。偶発的な損傷を避けるために、ディスプレイをしっかりと持ち、持ち上げるときにパネル画面を押さないでください(図1)。
- 2. ディスプレイの前面を下向きにしてテーブルに置きます (図 2)。
- 3. ミニスタンドをディスプレイの下部から 90 度回転させます (図 3)。



2.2 スタンド (アーム/ベース)の取り付け

スタンドを組み立てるには:

- ディスプレイを箱から慎重に取り出します。偶発的な損傷を避けるために、ディ スプレイをしっかりと持ち、持ち上げるときにパネル画面を押さないでください(図 1)。
- ディスプレイを下向きにしてテーブルに置き、ペーパー クリップ (または同様の物) を使用してネジ穴のゴム製クッションを取り外し、ミニスタンドを取り外します (図 2)。
- 3. アームを取り付け、ネジを使用して固定します (図 3)。
- 4. ベースをアームに取り付けます。次に、ネジリングを持ち上げて時計回りに回し、 ベースを所定の位置に固定します(図 4)。





 他の付属品(ミニスタンドなど)の追加取り付けによるビッグスタンドの持ち上 げ動作への影響を避けるために、ビッグスタンドを取り付ける前にミニスタン ドを取り外すことをお勧めします。

- ディスプレイの損傷を防ぐために、設置する台に柔らかい布を敷いておくことをお勧めします。
- ・ パネル画面が下を向いているときは、 ■メニュー (5-ウェイ) ボタンを傷つけ ないように注意してください。



2.3 スタンド (VESA ウォールマウント用) の取り外し

当ディスプレイの取り外し可能スタンドは、VESA ウォールマウント専用に設計されたものです。

スタンドを取り外すには:

- 1. ディスプレイを下向きにしてテーブルに置き、アームをディスプレイに固定して いるネジを取り外し、アームを取り外します (図 1)。
- 2. ミニスタンドを取り付けます (図 2)。





•

- ディスプレイの損傷を防ぐために、設置する台に柔らかい布を敷いておくことをお勧めします。
 - パネル画面が下を向いているときは、 <mark>目</mark> メニュー (5-ウェイ) ボタンを傷つけ ないように注意してく<u>だ</u>さい。





- ・ VESA ウォールマウントキット (100 x 100 mm) は別売りです。
- UL リストに記載された、重量/荷重が 22.7kg 以上 (ネジ寸法:M4 x 12 mm)の ウォールマウントブラケットのみをご使用ください。

2.4 ディスプレイフードの取り付け

取り付け方法は次のとおりです。

- 1. ペーパー クリップを使用して、ディスプレイの上部と背面にあるゴム製クッション を取り外します (図 1)。
- 2. 左右の側面を取り付け、付属のネジをロックします (図 2)。
- 3. 上側を取り付けます。
 - A. 上部ライトシールドをディスプレイの上に置き、前端が左右のライトシール ドから少し離れていることを確認します (図 3)。
 - B. 次に、最初に上部シールドを前方にスライドさせ、留め具をスナップして、 前端が左右のシールドと一直線になるようにします (図 3)。
- 4. 上部のネジをロックします (図 4)。



2.5 ケーブルクリップの取り付け

ケーブルクリップを使用して、接続されているケーブルを管理します。 ケーブルクリップを取り付けるには:

- 1. ペーパークリップ (または同様のアイテム) を使用して、ネジ穴を覆っているゴム を取り除きます (図 1)。
- ケーブルクリップのネジ穴(青色線でマーク)とガイドピン(ピンク色線でマーク) をネジ穴に合わせて、ディスプレイ背面の指定位置にクリップを取り付けます。 次に、ケーブルクリップをネジで固定します(図 2)。 同じ手順を繰り返して、他のケーブルクリップを取り付けます。
 - ガイドピンがディスプレイの端に近いネジ穴に取り付けられていることを確認します。
 - ・ ケーブルクリップは2つの側面(左と右)に分かれています。
- 3. 接続されたケーブルを、取り付けられたケーブルクリップに通します (図 3)。



(図3)

2.6 ディスプレイの調整

- 快適にご使用いただくために、ディスプレイに向かったときに画面がよく見える角度に調節しておくことをお勧めします。
- 角度を変える際は、ディスプレイが落ちないようにスタンド部を押さえながらおこ なってください。
- ディスプレイの角度は、-5°~+23°の間で調節可能です。また、左右 30°のスイベル調整が可能です。ディスプレイの高さは 130 mmの間で調節可能です。







ディスプレイのピボット

- 1. ディスプレイを一番高い位置まで持ち上げます。
- 2. ディスプレイを最大角度まで傾けます。
- 3. ディスプレイをご希望の角度までピボットします。



4. ディスプレイが回転すると、OSD メニュー項目が自動的に回転します。



2.7 ケーブルの接続

次の手順に従ってケーブルを接続します。



- 電源コードを接続するには:電源コードの一端をディスプレイのAC入力ポートにしっかりと接続し、もう一方の端を壁のコンセントに接続します。
- HDMI/DisplayPort/USB Type-C/USB Type-A ケーブルを接続するには:
 - a. HDMI/DisplayPort/USB Type-C/USB Type-A ケーブルの一方の端をディス プレイの HDMI/DisplayPort/USB Type-C/USB Type-A 端子に接続します。
 - b. HDMI/DisplayPort/USB Type-C* ケーブルのもう一方の端をデバイスの HDMI/DisplayPort/USB Type-C 端子に接続します。



USB 認定の Type-C4K/サポート 3.25 A (または最大 3.25 A) ケーブルを使用する ことをお勧めします。信号ソースが DP Alt モードをサポートしている場合、すべて のビデオ、オーディオ、データ信号を送信できます。

- イヤホンを使用するには:HDMI/DisplayPort/USB Type-C 信号が供給されたら、プラグ型の端をディスプレイのイヤホン端子に接続します。
- USB アップストリーム/ダウンストリーム機能を使用するには:
 - » アップストリーム: USB Type-C ケーブルを使用し、Type-C コネクタの端 をディスプレイの USB 3.2 Type-C ポートにアップストリームとして接続 し、もう一方の端をコンピュータの USB Type-C ポートに接続します。また は、USB Type-C ~ Type-A ケーブルを使用し、Type-C コネクタをディスプ レイの USB 3.2 Type-C ポートにアップストリームとして接続し、Type-A コ ネクタをコンピュータの USB Type-A ポートに接続します。コンピュータに 最新の Windows 10/11 オペレーティングシステムがインストールされてい ることを確認してください。これにより、ディスプレイの USB ポートが機能 するようになります。

» ダウンストリーム:USB ケーブルを使用して、デバイスをディスプレイの USB Type-A ポートに接続します。



これらのケーブルが接続されている場合、メニューの「入力選択」項目からご希望の 信号を選択することができます。

2.8 ディスプレイの電源を入れる

AC スイッチを ON の位置 (A) に設定し、**し**ボタン (B) を押します。電源ボタンの位置 については、1-3 ページ を参照してください。電源インジケータが白色に点灯し、ディ スプレイがオンになっていることを示します。



3.1 画面 (OSD) メニュー

3.1.1 設定方法

ProArt Preset	ProArt Preset		🖵 標準モード	HDMI-1	ASUS F 3840x2160@	A32DC 60Hz
Q	標準モード	2				
	sRGB モード					
	Adobe RGB モード					
A	Rec.2020 モード :					
	DCI-P3 モード					
	DICOM モード					
	Rec.709 モード :					
€	HDR_PQ DCI					
\sim	\checkmark					

- 1. E メニュー (5-ウェイ) ボタンを押して、OSD メニューを開きます。
- 2. メニュー (5-ウェイ) ボタンを上/下/左/右に動かして、機能間を移動します。目 的の機能を強調表示し、■ メニュー (5-ウェイ) ボタンを押してアクティブにしま す。選択した機能にサブメニューがある場合は、■ メニュー (5-ウェイ) ボタンを 上下に動かしてサブメニュー機能をナビゲートします。目的のサブメニュー機能 を強調表示し、■ メニュー (5-ウェイ) ボタンを押すか、■ メニュー (5-ウェイ) ボタンを動かしてアクティブにします。

× 🔶

- 3. = メニュー (5-ウェイ) ボタンを上下に動かして、選択した機能の設定を変更します。
- OSD メニューを終了して保存するには、 ✓ クローズボタンを押すか、 OSD メニ ューが消えるまで、
 メニュー (5-ウェイ)を左に繰り返し移動します。他の機能 を調整するには、手順1~3を繰り返します。

3.1.2 OSD 機能の概要

1. ProArt Preset

この機能には14のサブ機能があり、お好みに応じて選択することができます。 各モードにはリセットオプションがあり、設定の変更内容を維持するか、プリセットモードに戻るかを選択できます。

ProArt Preset	ProArt Preset		🖵 標準モード	HDMI-1	ASUS F 3840x2160@	PA32DC 60Hz
<u> </u>	標準モード	2				
	sRGB モード					
	Adobe RGB モード					
A	Rec.2020 モード :					
	DCI-P3 モード					
	DICOM モード					
	Rec.709 モード :					
€	HDR_PQ DCI					
\sim	\checkmark					

X 🔶

- 標準モード:ドキュメント編集に最適です。
- sRGB モード:sRGB 色空間と互換性があるため、sRGB は Web 閲覧に 最適です。
- Adobe RGB モード: Adobe RGB 色空間と互換性があります。
- Rec.2020 モード:: Rec.2020 色空間と互換性があります。
- DCI-P3 モード: DCI-P3 色空間と互換性があります。
- DICOM モード: DICOM 規格に準拠しており、医用画像チェックに最適です。
- Rec.709 モード:: Rec.709 色空間と互換性があります。
- HDR_PQ DCI:ST2084 に DCI-P3 色域と D65 ホワイトポイントを提示します。
 - » PQ Optimized:ディスプレイの輝度機能に関して、ST2084 と同じ精度でこのディスプレイの最適化された HDR パフォーマンスを提供します。
 - » PQ Clip:最大輝度を正確に表示するまで PQ カーブを保持します。 表示最大値より高い ST2084 コード値は、最大輝度にマッピングされます。
 - » PQ Basic:一般的な HDR 対応ディスプレイの HDR パフォーマンス を示します。

- HDR_PQ Rec2020:ST2084 に Rec.2020 の色域と D65 ホワイトポイン トを示します。
 - » PQ Optimized:ディスプレイの輝度機能に関して、ST2084 と同じ精度でこのディスプレイの最適化された HDR パフォーマンスを提供します。
 - » PQ Clip:最大輝度を正確に表示するまで PQ カーブを保持します。 表示最大値より高い ST2084 コード値は、最大輝度にマッピングされます。
 - » PQ Basic:一般的な HDR 対応ディスプレイの HDR パフォーマンス を示します。
- HDR_HLG BT2100: BT2100 に準拠しています。
- HDR_HLG DCI:DCI-P3 に準拠しています。
- HDR_DolbyVision: DolbyVision 照明タイプを選択します。
 - » 明るく: Dolby Vision Bright モード設定に準拠しています。
 - » 暗く: DolbyVision Dark モード設定に準拠しています。
- ユーザーモード 1/ユーザーモード 2: ProArt 校正を実行した後、1 つまたは 2 つの ProArt 校正プロファイルをユーザーモード 1/ユーザーモード 2 として保存し、ここにすばやくアクセスできます。



ProArt 色校正ンを実行する際は、次の設定を適用してください。

- 出力ダイナミックをフルレンジに設定します。
- ・ 出力カラー形式を RGB に設定します。
- ・ 出力色深度を8ビットに設定します。

以下の表は、各 ProArt Presetモードのデフォルト構成を示しています。

機能	標準	sRGB	AdobeRGB	Rec. 709
カラー	6500K	固定 (6500K)	固定 (6500K)	6500K
明るさ	50	固定 80 ニット	160 ニット	100 ニット
コントラスト	80	80	80	80
鮮明度	有効化 (0)	有効化 (0)	有効化 (0)	有効化 (0)
彩度	中 (50)	固定	中 (50)	中 (50)
色相	中 (50)	固定	中 (50)	中 (50)
ProArt パレット/ 色	有効化 (デフォルト)	固定	有効化 (デフォルト)	有効化 (デフォルト)
黒レベル	有効化 (デフォルト)	有効化 (デフォルト)	有効化 (デフォルト)	有効化 (デフォルト)
ガンマ	有効化 (2.2)	固定 (2.2)	固定 (2.2)	有効化 (2.4)
ライト効果 (照明效果)	有効化 (デフォルト)	固定	有効化 (デフォルト)	有効化 (デフォルト)
アダプティブカラー	有効化 (デフォルト)	固定	固定	有効化 (デフォルト)
均一輝度	有効化 (デフォルト:オフ)	固定 (オン)	有効化 (デフォルト:オン)	有効化 (デフォルト:オン)

機能	DCI-P3	Rec. 2020	DICOM	HDR_PQ DCI
カラー	P3-Theater	6500K	6500K	固定 (6500K)
明るさ	48 ニット	100 ニット	80	250 ニット/最大
コントラスト	80	80	80	固定
鮮明度	有効化 (0)	有効化 (0)	有効化 (0)	有効化 (0)
彩度	中 (50)	中 (50)	中 (50)	固定
色相	中 (50)	中 (50)	中 (50)	固定
ProArt パレット/ 色	有効化 (デフォルト)	有効化 (デフォルト)	有効化 (デフォルト)	有効化 (RGB ゲインのみ)
黒レベル	有効化 (デフォルト)	有効化 (デフォルト)	有効化 (デフォルト)	有効化 (デフォルト)
ガンマ	有効化 (2.2/2.6 のみ)	有効化 (2.4)	固定	固定
ライト効果 (照明效果)	有効化 (デフォルト)	有効化 (デフォルト)	有効化 (デフォルト)	固定
アダプティブカラー	有効化 (デフォルト)	有効化 (デフォルト)	有効化 (デフォルト)	固定
均一輝度	有効化 (デフォルト:オン)	有効化 (デフォルト:オン)	有効化 (デフォルト:オン)	有効化 (デフォルト:オフ)

機能	HDR_PQ Rec2020	HDR_HLG BT2100	HDR_HLG DCI	HDR_DolbyVision
カラー	固定 (6500K)	固定 (6500K)	固定 (6500K)	固定 (6500K)
明るさ	250 ニット/最大	250 ニット/最大	250 ニット/最大	250 ニット/最大
コントラスト	固定	固定	固定	固定
鮮明度	有効化 (0)	有効化 (0)	有効化 (0)	固定
彩度	固定	固定	固定	固定
色相	固定	固定	固定	固定
ProArt パレット/ 色	有効化 (RGB ゲインのみ)	有効化 (RGB ゲインのみ)	有効化 (RGB ゲインのみ)	固定
黒レベル	有効化 (デフォルト)	有効化 (デフォルト)	有効化 (デフォルト)	有効化 (デフォルト)
ガンマ	固定	固定	固定	固定
ライト効果 (照明效果)	固定	固定	固定	固定
アダプティブカラー	固定	固定	固定	固定
均一輝度	有効化 (デフォルト:オフ)	有効化 (デフォルト:オン)	有効化 (デフォルト:オン)	有効化 (デフォルト:オフ)

機能	ユーザーモード 1	ユーザーモード 2
カラー	固定	固定
明るさ	50	50
コントラスト	80	80
鮮明度	有効化 (0)	有効化 (0)
彩度	中 (50)	中 (50)
色相	中 (50)	中 (50)
ProArt パレット/ 色	有効化 (RGB ゲインのみ)	有効化 (RGB ゲインのみ)
黒レベル	有効化 (デフォルト)	有効化 (デフォルト)
ガンマ	固定	固定
ライト効果 (照明效果)	固定	固定
アダプティブカラー	固定	固定
均一輝度	固定	固定

Energy Star の省エネルギーをサポートするには、以下のプリセットモードを選択します。

標準/sRGB/AdobeRGB/Rec. 709/DCI-P3/Rec. 2020/DICOM

この製品は ENERGY STAR に準拠しています。

出荷時のデフォルトのディスプレイ構成と設定は ENERGY STAR に準拠してお り、最適な省エネルギーのために ENERGY STAR プログラムによって推奨さ れています。

注: 特定の光学機能 (インスタントオンなど) を有効にすると、ENERGY STAR 認証に必要な制限を超えてエネルギー消費が増加する場合があります (該当す る場合)。

2. ProArt パレット

このメニューからご希望の色設定を選択します。

この機能を有効にするには、環境効果機能を無効化する必要があります。

ProArt Preset	ProArt パレット	ロ 標準モード	HDMI-1	ASUS PA32DC 3840x2160@ 60Hz
٩	明るさ			
	コントラスト			
A	彩度			
	世相 カラー			
뜨	ガンマ			
	色			
Ð	黒レベル			
	色のリセット			



明るさ:0~100の範囲で調整可能です。

HDR 機能を有効にすると、最大輝度レベルがデフォルトで自動的に 500 ニットに設定されます。

- コントラスト:0~100の範囲で調整可能です。
- 彩度:0~100の範囲で調整可能です。
- **色相**:画像の色を緑と紫の間で変化させます。
- カラー:9300K、6500K、5500K、5000K、P3-Theaterを含む5つのモードが 含まれています。



ProArt Preset 設定が DCI-P3 モードに設定されている場合、6500K および P3-Theater オプションのみが使用可能です。

- ガンマ:カラーモードを1.8、2.0、2.2、2.4、または2.6に設定できます。
- **色**:色の設定を行います。
 - » 6 軸色相:赤、緑、青、シアン、マゼンタ、または黄色の6軸の色相設定 を調整します。
 - » 6 軸彩度:赤、緑、青、シアン、マゼンタ、または黄色の6軸彩度設定を 調整します。
 - » ゲイン:赤、緑、または青の色のゲインレベルを調整します。
 - » オフセット:赤、緑、または青の色の黒レベルオフセット値を調整します。

- **黒レベル**:最も暗いグレーレベルの初期化された最初の信号レベルを調 整します。
- **色のリセット**:色関連の設定をリセットします。
 - » リセットされた現在のカラーモード: 現在のカラーモードの色設定を工場出荷値にリセットします。
 - > リセットされたすべてのモードカラー:
 すべてのカラーモードの色設定を工場出荷値にリセットします。
- 3. 画像

このメニューから、画像に関連した設定をおこないます。

Pro Art Preset	画像	□ 標準モード	HDMI-1	ASUS P 3840x2160@	A32DC 60Hz
<u> </u>	鮮明度				
	アスペクトコントロール				
	入力範囲				
A	ブルーライト低減				
⊡					
€					
\sim					

X 🔶

- 鮮明度:0~100の範囲で調整可能です。
- アスペクトコントロール:アスペクト比を、フル画面、4:3、1:1、または OverScan の間で調整します。



- この機能を有効にするには、次の手順を実行する必要があります。PBP モードをオフにします。
 - 4:3 は入力ソースが 4:3 形式の場合にのみご利用いただけま す。OverScan は HDMI 入力ソースでのみご利用いただけます。
- 入力範囲:入力範囲を Auto、フル画面、Limited 16-235、または Limited 16-254 の間で調整します。
- ブルーライト低減:ブルーライト低減レベルを調整します。
 - » レベル 0:変化なし。
 - » レベル1~4:レベルが高ければ、散乱するブルーライトが減少します。ブルーライト低減が有効になると、標準モードの初期設定が自動的にインポートされます。レベル1~レベル3の間では、明るさ機能をユーザーが設定できます。レベル4が最適な設定です。TUV低ブルーライト認定に準拠します。ユーザーは明るさ機能を設定できません。



以下を参照し、眼の緊張を緩和してください。

- 長時間作業している場合、しばらくの間、ディスプレイから離れてください。1時間コンピュータで連続して作業したら、短い休み(5分以上)を取ることが推奨されます。短い休み時間を頻繁に取ることは、長い休み時間を1回取ることより効果があります。
- ・ 眼の緊張と乾きを最小限に抑えるために、ときどき遠くの物体を見つめて眼を休めてください。
- ・ 眼の運動は眼の緊張緩和に役立ちます。次の運動を頻繁に行ってください。眼の疲れが取れない場合、医師にご相談ください。眼の運動:(1)上下に繰り返し視点を移動します。(2)ゆっくり眼を回します。(3)視線を斜めに動かします。
- 強いブルーライトは疲れ目や加齢黄斑変性 (AMD) の原因になる可能 性があります。ブルーライト低減は有害なブルーライトを最大 70% 減ら し、コンピュータビジョン症候群 (CVS) 予防になります。

4. 自己校正

スタンドアロン校正を実行して、作業期間ごとに色の精度を確保します。

Ĺ	スケジュールの正確さ 設定されていることを	さを維持するために を確認してください。	こ、AC スイッチが常に	オンの位置に
	自己校正 目標 ウォームアップ (30 分) 手動実行 自動実行	□ 標準モード	ASUS PA HDMI-1 3840x2160@	32DC 60Hz
\sim				

• 目標:スタンドアロン校正を実行するプリセットモードを選択します。シング ルモードまたはマルチモードの両方が実行可能です。

× | ◆

ProArt Preset	自己校正	🖵 標準モード	ASUS PA32DC HDMI-1 3840x2160@ 60Hz
Q	目標	すべて	
	ウォームアップ (30 分)	sRGB	
	手動実行	Adobe RGB	
	自動実行	Rec. 2020	
		DCI-P3	
		Rec. 709	
		HDR_PQ	
€		HDR_HLG	
\sim			

 ウォームアップ (30分): スタンドアロン校正の前に 30 分間ウォームアップ するかどうかを設定します。(推奨)

ProArt Freset	自己校正		□ 標準モード	нр	MI-1	ASUS P 3840x2160@	A32DC 60Hz
Q	目標	はい					
	ウォームアップ (30 分)	いいえ					
	手動実行						
	自動実行						
Ð							
\sim							

• **手動実行**: スタンドアロン校正を手動で実行します。「はい」を選択して開始します。





X 🔶

× 🔶

• **自動実行**: パーソナライズされた時間設定のために、システムがスタンドア ロン校正を自動的に実行できるようにします。

ProArt Preset	自己校正	□ 標準モード	HDMI-1	ASUS P 3840x2160@	A32DC 60Hz
Q	目標				
	ウォームアップ (30 分) 手動実行				
	自動実行				
⊡					
Ð					
\checkmark					



» 時計:現在時刻を設定します。

ProArt Preset	自己校正	□ 標準モード нւ	ASUS PA32DC DMI-1 3840x2160@ 60Hz
Q	目標	時計	2022 / 01 / 01 00 : 00
	ウォームアップ (30 分)	予約	
	手動実行	ルーチン	
	自動実行		
⊡			
=			
€			
\sim			



予約:スタンドアロン校正の開始時刻を設定します。



× | ◆

» ルーチン:スタンドアロン校正の繰り返しサイクルを設定します。



「オフ」を選択すると、自動実行は無効になります。

ProArt Preset	自己校正	ロ 標準モード H	ASUS PA: DMI-1 3840x2160@	32DC 60Hz
Q	目標	時計	オフ	
	ウォームアップ (30 分)	予約	シングル	
	手動実行	ルーチン	毎日	
<u> </u>	自動実行		7日ごと	
G			14 日ごと	
			28 日ごと	
Ð				
\sim				



Ø

»

予約の設定は、時計の設定より遅くする必要があります。

5. PIP/PBP 設定

PIP/PBP 設定を使用して、オリジナルビデオソースのメインウインドウに加え、 別のビデオソースから接続している別サブウインドウを開くことができます。この 機能を有効にすると、ディスプレイにはさまざまなビデオソースからの最大2つ の画像が表示されます。

Ø	この機能を有効にするには、HDR 機能を無効化する必要があります。				
ProArt Preset	PIP/PBP 設定	🖵 標準モード	HDMI-1 3840x	ASUS PA32DC 2160@ 60Hz	
	РІР/РВР モード				
	PIP/PBP ソース				
A	色設定 PIP サイズ				
9					
€					

X 🔶

- PIP/PBP モード: PIP、PBP、PBP x 3、または PBP x 4 機能を選択するか、 オフにします。
- PIP/PBP ソース: HDMI-1、HDMI-2、HDMI-3、DisplayPort、USB Type-C の 間でビデオ入力ソースを選択します。次の表は、入力ソースの組み合わせ を示しています。

サブムノンドム	メインウインドウ					
ップジョンドジ	HDMI-1	HDMI-2	HDMI-3	DisplayPort	USB Type-C	
HDMI-1	はい	はい	はい	はい	はい	
HDMI-2	はい	はい	はい	はい	はい	
HDMI-3	はい	はい	はい	はい	はい	
DisplayPort	はい	はい	はい	はい	はい	
USB Type-C	はい	はい	はい	はい	はい	

- PIP サイズ: PIP サイズを小さい、中、または大きいに調整します。(PIP モードでのみ使用可能)

6. QuickFit Plus

ユーザーは、テストコピーを印刷せずに、ドキュメントまたは写真のレイアウトを 画面上で直接プレビューできます。

Ø	この機能を有効に	するには、PIP/PBP そ	ドを無効化	する必要がありま	す。
~					
ProArt Preset	QuickFit Plus	ロ 標準モード	HDMI-1 3840x	ASUS PA32DC 2160@ 60Hz	
<u> </u>	安全領域				
	中央マーカー				
A	Ruler				
G					
€					
\sim					
				X	

- 安全領域:デザイナーおよびユーザーはページ上のコンテンツおよびレイ アウトを整理し、一貫した表示とスタイルを維持することができます。以下 の選択肢があります:1:1、アクションゾーン、タイトルゾーン、または3x3 です。
- **中央マーカー**:中央マーカーの種類を選択します。以下の選択肢がありま す:タイプ 1、タイプ 2、または タイプ 3 です。
- Customization: ■メニュー (5-ウェイ) ボタンを上/下/左/右に動かしてフレームの大きさを決定できます。
 メニュー (5-ウェイ) ボタンを3 秒以上押すと、メートル法とインペリアル法の間で測定値を切り替えることができます。
- Ruler:このパターンは、上部と左側に物理的なルーラーを示します。 ■メニュー (5-ウェイ) ボタンを 3 秒以上押すと、メートル法とインペリアル法の間で測定値を切り替えることができます。

7. 入力選択

この機能では、希望の入力ソースを選択できます。

ProArt Preset	入力選択		□ 標準モード	HDMI-1	ASUS F 3840x2160@	A32DC 60Hz
<u> </u>	HDMI-1	2				
	HDMI-2					
	HDMI-3					
A	DisplayPort					
	USB Type-C					
	自動検出					
€						
\sim						



8. システム

システムを調整できます。

^	システム	□ 標準モード	HDMI-1	ASUS P/ 3840x2160@	A32DC 60Hz
مکر	HDR プレビュー				
7	DolbyVision				
	均一輝度				
	USB 設定				
	省エネ:				
	メニュー設定				
	言語				
	サウンド				
	\checkmark				

X 🔶

 HDR プレビュー:HDR10 および HLG マッピングを使用して非 HDR コ ンテンツのパフォーマンスをプレビューできます。HDR プレビュー機能が オンになっている間は、HDR_PQ DCI、HDR_PQ Rec2020、HDR_HLG BT2100、HDR_HLG DCI オプションのみを選択できます。



- **DolbyVision**: DolbyVision 機能を有効化または無効化します。
- 均一輝度:有効にした場合、最大輝度は約 25 0ニットです。

- USB 設定: USB Type-C ポート設定を構成します。USB セットアップパラ メータは、音声入力が USB Type-C ポートに接続されている場合にのみ 出力解像度に影響します。USB 2.0 と USB 3.2 の技術的な違いにより、最 大 USB データスループット (帯域幅およびその他の関連特性) が変化し、 最大出力解像度に影響を与えます。
 - » USB 2.0 (4K2K @60Hz):USB Type-C ポートの 2.0 仕様に準拠し たデータ転送速度は、4K2K 60Hz の最大解像度しか出力できません。
 - » USB 3.2 (4K2K @30Hz): USB Type-C ポートの 3.2 仕様に準拠したデータ転送速度は、4K2K 30Hz の最大解像度しか出力できません。



- USB Type-C ~ A ケーブルを使用する場合、データ転送速度は USB 3.2 のままになります。
- 音声入力が DisplayPort または HDMI ポートに接続されている場合、USB セットアップ設定は解像度に影響しません。
- **省エネ:**:省エネ設定を指定します。
 - » 標準レベル:ディスプレイが省エネモードに入ったときに、USB ダウ ンストリームポート/USB Type-C ポートが外部デバイスを充電でき るようにします。
 - ディープレベル:すべてのポートが外部デバイスを充電することを許可せず、ディスプレイが省エネモードに入ったときにUSB Type-CおよびUSB信号が自動的に検出されないようにします。
- メニュー設定:OSD メニュー設定を構成します。
 - » メニュー タイムアウト:メニュータイムアウトを 10 ~ 120 秒の範囲 で調節します。
 - » DDC/CI:DDC/CI 機能を有効化あるいは無効化します。
 - » 透明:メニュー背景を不透明から透明までの範囲で調節します。
 - » 自動ローテーション:自動 OSD 回転機能を有効化または無効化し ます。
- 言語:OSD メニュー言語を選択します。
- **サウンド**:サウンド設定を行います。
 - » ボリューム:出力ボリュームレベルを調整します。
 - » ミュート:ミュート機能を有効化または無効化します。
 - » 音声入力:ディスプレイの音声がどの音源から来るかを指定しま す。(PIP/PBP モードでのみ使用可能)
- DisplayPort ストリーム: グラフィックカードとの互換性。グラフィックカードの DP バージョンにより、DisplayPort 1.1 または DisplayPort 1.4 を選択します。

- キーのロック:「オン」を選択すると、すべての機能キーが無効化されます。
 キーロック機能を解除するには、 クローズボタンを5秒以上押してください。
 クローズボタンの位置については、1-2ページを参照してください。
- **電源インジケータ**:電源 LED インジケータのオン/オフを切り替えます。
- 環境効果:環境効果の設定を行います。
 - » ライト効果 (照明效果):明るさのレベルを適応的に調整します。
 - » アダプティブカラー:色温度を適応的に調整します。



HDR 機能が有効で、ProArt Preset 設定が HDR_PQ DCI、HDR_PQ Rec2020、HDR_HLG BT2100、HDR_HLG DCI、または HDR_DolbyVision に設定されている場合、この機能は無効になります。

• 近接センサー:機能が有効になっていて、設定した時間内に 30 cm ~ 1.5 m 以内に物体の存在が検出されない場合、システムは定期的に明るさを 自動的に下げます。



- 回復時間は2秒以内になります。
- ・ 対象物や環境により、検知できる能力や距離は異なります。
- センサーの前 (30 cm ~ 1.5 m) に物を置かないでください。センサーの機能が低下します (人が前方にいると誤動作する可能性があります)。
- 画面保護:明るさを徐々に下げて、パネルのライフサイクルを確保します。



ProArt Preset 設定が HDR_PQ DCI、HDR_PQ Rec2020、HDR_HLG BT2100、HDR_HLG DCI、または HDR_DolbyVision に設定されている場合、この機能は無効になります。

- **情報**:ディスプレイ情報を表示します。
- **すべてのリセット**:すべての設定を工場出荷時のデフォルトモードに戻すに は、「はい」を選択します。

9. ショートカット

ショートカット1および2ボタンの機能を定義します。

^	ショートカット	🖵 標準モード	HDMI-1	ASUS P 3840x2160@	A32DC 60Hz
مکر	ショートカット 1		1		
7	ショートカット 2				

× 🔶

 ショートカット 1/ショートカット 2:ショートカット 1 および 2 ボタンの機能 を選択します。



特定の機能を選択またはアクティブ化すると、ショートカットキーがサポート されない場合があります。ショートカットに使用できる機能の選択肢は次の とおりです。ブルーライト低減、明るさ、ProArt Preset、HDR、 PIP/PBP 設定、カラー、ボリューム、ユーザーモード 1、ユーザーモード 2。

3.2 仕様概要

パネルタイプ	OLED パネル
パネルサイズ	31.5 インチワイドスクリーン
最大解像度	3840 x 2160
ピクセルピッチ	0.182 mm
明るさ	250 cd/m²(標準)、500 cd/m²(HDR、Peak)
コントラスト比	1,000,000:1 (最大)
視野 (水平/垂直) CR>10	178° (水平)/178° (垂直)
ディスプレイカラー	10億7000万色 (10 ビット)
色域	Adobe RGB 99%、DCI-P3 99%、Rec2020 80%、 sRGB 100%
応答速度	0.1 ミリ秒 (GTG)
ProArtPreset 選択	14 色のプリセットモード (2 つのユーザーモードが含ま れています)
カラー選択	5種のカラー
デジタル入力	HDMI 2.0, DisplayPort 1.4, USB Type-C
イヤホン端子	あり (3.5 mm)
USB 3.2ポート	アップストリーム x 1、ダウンストリーム x 4 (USB 3.2 Gen 2)
色	黒
電源LED	白色 (オン)/黄色 (スタンバイ)
チルト	$+23^{\circ} \sim -5^{\circ}$
スイベル	+30° \sim -30°
ピボット	+90° \sim -90°
高さ調整	130 mm
Kensington ロック	はい
AC 入力電圧	AC:100 \sim 240 V
消費電力	電源オン29 W** (標準)、スタンバイ: < 0.5 W、 電源オフ: 0 W (スイッチオフ)
温度 (操作)	$0^{\circ}C \sim 40^{\circ}C$
温度 (非使用)	-20°C ~ +60°C
寸法 (幅 x 高 x 奥行)	735.4mm x 466.9mm x 54.4mm (ディスプレイのみ) 735.4mm x 489.1mm x 162.6mm (ミニスタンド付き) 735.4mm x 626.9mm x 245mm (スタンド付き、最高位 置) 735.4mm x 496.9mm x 245mm (スタンド付き、最低位 置) 878mm x 616mm x 298mm (梱包)

重量 (目安)	7.6 kg (ディスプレイのみ) 8 kg (ミニスタンド付き) 12.14 kg (スタンド付き) 12.5 kg (正味) 20.35 kg (総重量)
多言語	27 言語(英語、簡体字中国語、繁体字中国語、日本語、ロ シア語、スペイン語、イタリア語、ドイツ語、フランス語、オ ランダ語、ポルトガル語、チェコ語、クロアチア語、ルーマ ニア語、トルコ語、アラビア語、デンマーク語、フィンラン ド語、ギリシャ語、ハンガリー語、スロバキア語、スロベニ ア語、スウェーデン語、ポーランド語、韓国語、ペルシャ 語、ウクライナ語)
付属品	クイックスタートガイド、保証カード、電源コード、HDMI ケーブル、USB Type-C ケーブル、DisplayPort ケーブ ル、USB Type-C ~ Type-A ケーブル、校正レポート、 スタンド、ケーブルクリップ、フード
コンプライアンスと規格	Energy Star 8.0、 cTUVus、 CB、 CE、 ErP、 FCC (クラスB) 、 CCC、 BSMI、 CU、 C-Tick (RCM)、 VCCI、 ISO-9241-307 、 PSE、 J-MOSS、 RoHS、 WEEE、 Windows 10 & 11 WHQL、 Mac Compliance***、 Ukraine、 VESA DisplayHDR TrueBlack 400、 DolbyVision

* 仕様は予告なしに変更される場合があります。

** オーディオ /USB/ カードリーダー接続なしで 200 ニットの画面輝度を測定。

*** Mac OS11.6.x が必要です。

3.3 外形寸法

[ディスプレイ]





[スタンド付きディスプレイ]



3.4 トラブルシューティング (FAQ)

問題	可能な解決方法
電源 LED が点灯しない	 ・ しボタンを押して、ディスプレイの電源がオンになっているかどうか確認してください。 ・電源ケーブルがディスプレイとコンセントに正しく接続されているかどうか確認してください。 ・AC スイッチがオンに設定されているかどかを確認してください。
黄色の電源 LED が点灯している のに画面に何も表示されない	 ディスプレイとコンピュータの電源がオンになっている かどうか確認してください。 信号ケーブルがディスプレイとコンピュータに正しく接 続されていることを確認してください。 信号ケーブルのピンが曲がっていないか確認してく ださい。 コンピュータを別のディスプレイ (あれば)に接続して みて、コンピュータが正しく作動しているかどうか確認 してください。
映像が明るすぎる、または暗すぎる	 メニューからコントラストと明るさ設定を調整してく ださい。
映像がバウンスする、または映像 に波模様が現れる	 信号ケーブルがディスプレイとコンピュータに正しく接続されていることを確認してください。
映像の色彩に異常がある (白色が 白く見えない)	 信号ケーブルのピンが曲がっていないか確認してください。 メニューから「すべてのリセット」を実行してください。 色設定を調整するか、OSDを介して色温度を選択します。
音が出ない、または音が小さい	 HDMI/DisplayPort ケーブルがディスプレイとコンピュ ータに正しく接続されていることを確認してください。 ディスプレイと HDMI/DisplayPort デバイスの両方の ボリューム設定を調整します。 コンピュータのグラフィックカードドライバが正しくイ ンストールされ、有効化されていることを確認してく ださい。

3.5 サポートされている動作モード

解像度周波数	垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (KHz)	ピクセル (MHz)
640x480	59.94(N)	31.47(N)	25.18
640x480	72.82(N)	37.87(N)	31.5
640x480	75(N)	37.5(N)	31.5
720x400	70(P)	31.47(N)	28.32
720x480	59.94	31.469	27
720x576	50	31.25	27
800x600	56.25(P)	35.16(P)	36
800x600	60(P)	37.88(P)	40
800x600	72(P)	48.1(P)	50
800x600	75(P)	46.9(P)	49.5
1024x768	60(N)	48.36(N)	65
1024x768	70(N)	56.48(N)	75
1024x768	75(N)	60(N)	78.75
1152x864	75(P/N)	67.5(P/N)	108
1280x960	60(N)	60(P)	108
1280x1024	60(P)	63.98(P)	108
1280x1024	75(P)	79.98(P)	135
1440x900	60(P)	55.94(N)	106.5
1600x1200	60(P)	75(P)	162
1680x1050	60(P)	65.29(N)	146.25
1920x1080	60(P)	67.5(P)	148.5
1920x1200	59.885(P)	74.556(N)	193.25
1920x2160	60	135(P)	297
2560x1080	60	66(P)	198
2560x1440	59.9	88.7(P)	241.5
3840x2160	23.98	54	297
3840x2160	25	56.25	297
3840x2160	29.97	67.5	297
3840x2160	50	112.5	594
3840x2160(DP)	60	133.3(P)	533.3
3840x2160(HDMI)	60	135(P)	594
4096x2160	23.98	67.5	297
4096x2160	25	112.5	297
4096x2160	29.97	135	297
4096x2160	50	112.5	594
4096x2160	60	135	594

「P」/「N」は、入力 H-sync/V-sync (入力タイミング)の「正」/「負」極性を表します。ディスプレイがHDMIコネクタ を使用してビデオモードで動作している場合 (つまり、データを表示していない場合)、標準解像度のビデオに加え て、次の高解像度モードがサポートされます。

解像度	垂直周波数 (Hz)	水平周波数(KHz)
1920x1080p	24	27
	25	28.125
	30	33.75
	50	56.25
	60	67.5
1920x1080i	50	28.13
	60	33.75
1440x480p	59.94	31.47
	60	31.5
1440x576p	50	31.25
1280x720p	50	37.5
	60	45

* 表に記載されていないモードはサポートされていない可能性があります。最適な解像度を得るために、リストに 記載されているモードをお選びになることを推奨します。